

教員の総合業績(基礎資料)調査 氏名 (和田 雅 昭)

1 研究業績

1) 著書・論文・学会発表・作品など(平成12-18年度に限る)

例:(欧文の場合は、原文 alphabet で記入してください)

#全著者あるいは作者名(自己にアンダーライン、単著の場合はアンダーライン不要)

&著書、学術論文又は作品の名称

\$発行所(総頁数)、発表雑誌又は発表学会(号・巻・pp・年月)、展覧会(場所・期間)などの名称

さらに、特別講演・シンポジウム(招待講演)・一般講演など(地方支部会・全国大会・国際会議)の別

註:学会・展覧会など、専門分野以外の人に分りにくい場合は、できるだけその社会的位置づけ、歴史、規模などの簡潔な説明を付してください

【査読論文】

#畑中勝守, 和田雅昭

&漁船を活用した海底地形情報取得システムのデータ解析に関する考察

\$海岸工学論文集, 53, pp.1386-1390(2006)

#和田雅昭, 畑中勝守, 雫石雅美

&水産業における情報技術の活用について-II. ~測深データの解析と海底地形図の作成~

\$日本航海学会論文集, 115, pp.83-89(2006)

#和田雅昭, 木村暢夫, 水川達也, 増田稔

&海上施工専用船の回航監視システムについて

\$日本航海学会論文集, 113, pp.223-229(2005)

【国際会議】

#Ayahiko Niimi, Hiroshi Shimada, Rika Goto, Masaaki Wada, Kei Ito, Osamu Konishi

&P2P Sensor Data Mining System for School Temperature Measurement System

\$ International Symposium on Artificial Life and Robotics (AROB 12th '07), 4pages in CD-ROM, 2007

#Katsumori Hatanaka, Masaaki Wada

&A Development of the Low-Cost Bathymetry System for Coastal Management by Fishing Echo Sounders and Sensor Network Technologies

\$ Proceedings of International Conference Coastal Engineering, pp.374, 2006

Ayahiko Niimi, Masaaki Wada, Kei Ito, Osamu Konishi

& Construction of School Temperature Measurement System with Sensor Network

\$ Proceedings of 10th International Conference on Knowledge-Based Intelligent Information & Engineering Systems (KES'2006), pp.813-819, 2006

Masaaki Wada, Katsumori Hatanaka, Masashi Toda

& Compact Buoy System for Scallop Cultivation Using Sensor Network Technologies

\$ Proceedings of OCEANS'06 MTS/IEEE - Boston, Aquaculture I, pp.1-6, 2006

Masaaki Wada, Katsumori Hatanaka, Masashi Toda

& Development of a Compact Buoy System Using Real Time Sensor Network Technologies

\$ Proceeding of INSS2006, Third International Conference On Networked Sensing Systems, pp.141, 2006

Katsumori Hatanaka, Masaaki Wada, Minoru Kotaki

& Instrumentation for the measurement of shallow seabed topography by a fishing echo sounder

\$ Oceans 2005 MTS/IEEE Conference Proceedings, Ocean Instrumentation I, pp.1-6(2005)

【紀要】

畑中勝守, 和田雅昭, 上瀧實

& 魚群探知機情報の DB 化による海底地形観測システムの開発

\$ 北海道東海大学紀要理工学, 18, pp.7-13(2006)

【研究会等】

和田雅昭, 畑中勝守, 戸田真志

& 海洋ユビキタスセンシングのためのマリンプロードバンドの構築

\$ 情報処理学会研究報告, 2007-MBL-40/2007-UBI-13, pp.23-27(2007)

齊藤研一郎, 今野悟志, 和田雅昭

& 無人小型双胴船の自動航行アルゴリズムの構築

\$ 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会論文集, 7, pp.996-997(2006)

和田雅昭, 畑中勝守, 戸田真志

& ホタテ養殖海域における小型海洋観測ブイの実用性評価

\$ 情報処理学会研究報告, 2006-UBI-12, pp.45-52(2006)

和田雅昭, 畑中勝守, 宮下和士, 鉄村光太郎

&IEEE802.11Jによるマリンプロードバンドの構築

\$ 情報処理北海道シンポジウム 2006 講演論文集, pp.105-108(2006)

今野悟志, 斉藤研一郎, 和田雅昭

&衛星通信及び無線 LAN を活用した洋上情報共有システムの構築

\$ 情報処理北海道シンポジウム 2006 講演論文集, pp.113-118(2006)

和田雅昭, 鈴木恵二, 長野章, 西村正三, 増田稔

&3D レーザスキャナによる函館漁港船入潤防波堤の三次元計測

\$ 平成 18 年度日本水産工学会学術講演会講演論文集, pp.207-210(2006)

和田雅昭

&海中転落者のための救助支援システムの開発と評価

\$ 情報処理学会研究報告, 2006-UBI-11, pp.31-38(2006)

和田雅昭, 畑中勝守, 戸田真志

&ホタテ養殖支援のための小型海洋観測ブイの開発

\$ 情報処理学会研究報告, 2006-MBL-36/2006-UBI-10, pp.387-392(2006)

和田雅昭, 鈴木昭二

&H8 マイコンを用いた演習用ターゲットボードの紹介

\$ 電気・情報関係学会北海道支部連合大会講演論文集, CD-ROM(2005)

米道仁史, 和田雅昭

&公立はこだて未来大学におけるセンサネットワークの構築

\$ 電気・情報関係学会北海道支部連合大会講演論文集, CD-ROM(2005)

和田雅昭, 畑中勝守

&センサネットワークによる海洋情報の取得と活用

\$ 情報科学技術フォーラム講演論文集, 4, pp.135-136(2005)

畑中勝守, 和田雅昭, 上瀧實, 増田稔, 土池政司

&魚群探知機情報を活用した低コスト海底地形測深システムの開発

\$ 第 60 回土木学会年次学術講演会概要集, 第 IV 部門, pp.521-522(2005)

2) 学会活動（役員・会員）、学会の組織運営、学会誌の編集委員など（平成 12-18 年度に限る）

例：

#学会などの名称

&編集委員長又は委員などの別

\$ 任務期間（年月）

註：専門分野によっては適宜変更（例えば、学会を展覧会などと記す）・追加説明を付してください できれば展覧会・学会などについても社会的位置付け、歴史、規模などの簡潔な説明を添えてください

#日本航海学会

&航法システム研究会運営委員

\$平成18年

&会員

#日本水産工学会

&会員

#電子情報通信学会

&会員

#情報処理学会

&会員

#IEEE

&会員

3) 研究費獲得状況（未来大学外からの財源）（科学研究費、財団助成金、委任経理金など（平成 12-17 年度に限る）

例：

#平成12-(13)年度

&財源、たとえば科学研究費補助金

\$ 研究課題名

%代表者、分担者の別、研究課題参加者数、あるいは〇〇研究所との共同研究（相手機関の協同研究者数など）

¥研究経費（例：平成12年度；800千円、平成13年度；500千円）

#平成18年度

&総務省，戦略的情報通信研究開発推進制度

\$持続可能な沿岸漁業のためのブロードバンド型漁業情報統合システムの構築に関する研究開発

%分担者

¥1,505.4 千円，平成18年度

#平成18年度

&財団法人北海道学術振興財団，助成金

\$国際会議 Oceans'06 MTS/IEEE-Boston での発表

%代表者

¥200 千円，平成18年度

#平成18年度

\$無人環境調査船の制御アルゴリズムに関する研究

%代表者，有限会社エムアンドエムとの共同研究

¥287.5 千円，平成18年度

#平成17年度

&財団法人北海道科学技術総合振興センター，研究助成

\$養殖施設設置型定点観測ブイの実用化に関する基礎研究

%代表者

¥400 千円

#平成17年度

&経済産業省，地域新生コンソーシアム研究開発事業

\$沖合漁業のためのユビキタスな活動支援システムの研究開発

%分担者

¥400 千円

#平成17年度

\$水産業における三次元海底地形の取得と活用に関する研究

%代表者，株式会社東和電機製作所との共同研究

¥2,000 千円，

#平成17年度

\$ 漁船による深淺測量システムの実用化に関する研究

%代表者, 有限会社エムアンドエムとの共同研究

¥287.5 千円, 平成 17 年度

平成 16 年度

\$ IP を用いた移動体の制御に関する基礎研究

%代表者, 有限会社ネクサスとの共同研究

¥100 千円

平成 16 年度

\$ マリンネットワークの構築に関する基礎研究

%代表者, 株式会社東和電機製作所との共同研究

¥200 千円

4) その他 (特許、内地研究 (学内共同研究は除外) および在外研究歴と成果など特記すべきこと。本項目は平成 12-17 年度に限定しない。)

・ 山下記念研究賞, 2007

・ 情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会第 10 回研究会優秀論文賞, 2006

・ 情報処理学会北海道支部技術研究賞, 2006

・ 電気・情報関係学会北海道支部連合大会優秀論文発表賞, 2005

2 教育業績

1) 教育負担の実態 (複数教員で担当する科目の場合は、貴方の分担分のみ) 本項目は時間割に含まれた教科 (補講・補習など教室で行なったものは含む) を調査の対象としております。従って、〇〇研究会、〇〇同好会など、各教員室他で行なったものは、対象外とします。試験やレポートなどの採点時間も除外します。(平成 12-17 年度に限る)

例:

科目名 (講義・演習・実習・補講の別)、単位数・必修/選択の別、担当教員数 (単独の場合は不要)

& 実施期間 (平成 12 年度前期、あるいは平成 13 年 10-11 月)、実施コマ数 (休講しても補講で補えば算定する)、補講をしなかった休講回数 (例: 実施 13 コマ、休講 2 コマ)

\$ 実働時間数 (全て、実時間合計(推定)値でお願いします)、演習などは一コマ 1.5 時間を超えていると思われま

すので、そのような場合は、たとえば一コマ 2.2 時間などと算定してください（例：実働 22.5 時間）

%受講登録学生数（例：45 名）、平均的出席者数（例：38 名；初めは 40 名、終りは 25 名など）、単位認定（合格）者数

註：本項目はできるだけ正確にお願いしたいですが、概数でも結構です。記述がない場合は 0 と判断します

#情報アーキテクチャ演習 II（演習），2 単位，必須／選択，担当教員数 2 名

&平成 18 年度前期，14 コマ

\$ 実働時間数 21 時間

%受講登録学生数 80 名，平均的出席者数 80 名，単位認定者数 80 名

#システム情報科学実習 I（演習），2 単位，必須，担当教員数 3 名

&平成 17-18 年度前期，15 コマ

\$ 実働時間数 22.5 時間

%受講登録学生数 15 名，平均的出席者数 15 名，単位認定者数 15 名

#システム情報科学実習 II（演習），2 単位，必須，担当教員数 3 名

&平成 17-18 年度後期，15 コマ

\$ 実働時間数 22.5 時間

%受講登録学生数 15 名，平均的出席者数 15 名，単位認定者数 15 名

2) 成績評価方法（その方法を具体的に記載・学生（社会）が納得するような具体的説明。）

また、複数の教員で担当する科目の場合は、取りまとめの方法についても記述してください。

【演習】

目標の設定と作業計画の妥当性，グループワークにおける強調性など作業過程の評価と，実験結果，発表資料など成果物の評価を総合的に行う。

3) 講義方法など改善への努力（FD 関連の講演会などの聴講回数、教育内容とそれらの効果について貴方が行われた事柄・目標を具体的に記述して下さい）。

・演習用マイコンボードの設計（情報アーキテクチャ演習 II），2005

4) その他（上記以外に特記すべきことがありましたら、簡潔かつ具体的に、箇条書きなどで記述してください。特に、貴方が作られたシラバスと現在教務委員会で検討されている（コース別）

講義内容・目標、あるいは JABEE などとの関連、並びに貴方が担当されている科目の位置付けなどについてご意見があれば記して下さい。また、本学は教員の専門分野が多岐にわたっているため、相互理解を目的としたコース特有の問題点や、皆さんの教育に対する抱負などを記述して戴いても結構です。）

3 大学の管理運営

各種委員会（委員長・委員、クラス担任、学習指導・生活指導、クラブ活動の顧問等の実績（具体的に記述してください、できれば実働延べ時間数など）、その他。（平成 12-17 年度に限る）

- ・施設委員会委員，平成 18 年度
 - ・共同研究センター運営委員会委員，平成 16-18 年度
 - ・安全委員会委員，平成 17 年度
 - ・マイコン部顧問，平成 17-18 年度

4 その他

資格（技術士など）、地域への貢献（地域自治体審議会、委員会等の役員、委員。地域との共同研究・技術相談。公開講座・出前授業・市民向け講演）あるいは提言・御意見など。（平成 12-17 年度に限る）

- ・オープンキャンパス模擬授業，H8 マイコンで遊ぼう，2006
 - ・函館東高校模擬授業，H8 マイコンで遊ぼう，2006
 - ・NPO 法人北海道魚道研究会，特別顧問，2006
 - ・情報セキュリティアドミニストレータ，2005
 - ・第 2 回 NEDO 北海道セミナー in 札幌 2005，パネリスト，2005